

## 2024.01.11.木曜礼拝『新しい希望 新しいいのち』

### エゼキエル37章

アーメン。アーメン。一緒に祈りませんか？ 主よ、本当にありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。私たちは感謝します。ありがとうございます。主よ、私たちが人生で見落とししがちな小さなことに感謝します。主よ、今晚私たちがここに集い、あなたが私たちの思いを研ぎ澄まされ、通常の木曜日の夜ではないのがわかるよう助けてください。しかし、それ以上に、あなたの御言葉を聞く機会なのです。主よ、今晚、私たちに語ってくださいますか？ J.D.牧師をあなたに感謝します。彼と彼の家族とともにいて、力を与え続けてくださいますように。イエスの御名によって、アーメン。アーメン、アーメン。

こんばんは。ようこそ。皆さん、お元気ですか？ 良いですか。祝福ですか。いいですね。オンラインの皆さん参加くださり大変嬉しいです。さっそく本題に入りますが、まず、祈りと宣教の最新情報の代わりに、火曜日の夜のメッセージと祈り会についてお伝えしたいと思います。ホームページにリンクを貼っておきます。ホームページと SNS からご覧いただけます。火曜の夜は、、、うーん、なんとも、まだ言葉が出ません。そうならざる得なくて。はい。祈り会は、、、わお。ただ、わお、神よ、わお、神よ。でした。ネパール医療ミッション・チームが戻り、分かち合ってくれて、鳥肌もの以上でした。また、神が成されたことの素晴らしい証を分刻みでいくつか分かち合いました。前回の祈り会で、フィリピンのスティーブ・ホワイトさんとその宣教のために祈ったからです。とにかく素晴らしい夜でした。火曜日の夜、神が成してくださった余韻にまだ浸っています。そのことをお伝えしたいのと、どうか留意ください。私たちがイスラエルやマウイ島のことを決して忘れず思い出していただきたいのです。ですから、どうか、イスラエルのユダヤ人とアラブ人、そしてマウイの人々のために祈り続けてください。世のその他の国々から忘れ去られていきますからね。しかし、ラハイナの人々やマウイ島の人々にとってはそうではありません。ですから、願わくは、主の御心なら、近況をお知らせできますように。またスティーブ・サントス牧師と連絡を取り合っていて、彼と奥さんがまた来て共に分かち合ってくれることを願います。主の御心なら、そうなるかもしれません。私たちがまだここにいるなら。もしかすると、3月頃、きっとその頃になるはず。待ちましょう。また、始める前に少し時間をいただき、私の妻、ケリーのために皆さんの祈りをありがとうございます。ご存知、彼女は乳がんと闘っています。火曜の夜にも話したように、非常に攻撃的で深刻です。ですから、私たちのために、彼女のために祈り続けていただき本当に感謝します。私が強く感謝したいのは、溢れんばかりの愛に圧倒されたからです。皆さん、本当にありがとうございます。では、今夜は、「エゼキエル書」37章で、そう反応するだろうと思いました。そう反応するだろうと思いました。つまり、37章にそのように反応するのであれば、どんな反応をするのか楽しみなのは、、、主の御心なら、来週は38章です。ええ、そうなんです。それでは、今夜、神の御言葉で共に過ごす時間を神が祝福くださるよう祈りましょう。お父様、ありがとうございます。あなたは大変良いお方です。大変良いお方です。良過ぎます。あなたが私たちを大変愛して下さっているのがわかります。

あなたの御思いは数えようとしてもそれは砂よりも数多いのです。（詩篇 139:18-19参照）  
無数で数え切れません。今夜、私たちはここにいて、この美しい聖域で聖書とともに、どうか私たちの心と目と耳を開いてくださいますように。私たちはあなたに飢え渴いているからです。あなただけが私たちの飢えと渴きを満たして下されると知っています。私たちは義に飢え渴く者に数えられ祝福されますように。ですから主よ、いのちのパンにも飢えています。私たちには必要です。

**「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる。」（マタイ 4:4）**

と聖書にあるからです。主よ、私たちはそれを切望し、あなたの御言葉を食べ、御言葉によって養われる必要があります。今夜私たちに、そうしてくださいますか？主よ、もちろん、そうしてくださいます。しかし、私たちはただ、あなたが私たちを導かれ、養われ、私たちの人生に語ってくださいますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

さて、この章はある程度よく知られていますね？ イスラエルの枯れた骨の預言と愛称され、イスラエ国家についての預言的適用が確かにあります。しかし、間違いなく、クリスチャンとしての私たちにも個人的に当てはまります。その理由は、枯れた骨のように、イスラエルは死に、枯れ、長い間干からびていて、完全な不可能に直面する中、神にしかおできにならないように、新たな希望を与えてくださり、同時に、新しい命を与えて下さいます。この章で私たちが見ようとしていることは、絶対に不可能な考えられない事。神がなさらない限りは。それがまさに神がなさろうとしていることです。この章を読み

進める中で、預言者的性質に濁されませんように。つまり、この章のある部分、過去は、成就しました。現在は、今現在成就していて、この先の未来は、未来に成就します。全てが一緒にこの1つの章、

「エゼキエル書37章」に包まれています。ですから、今夜、本当に楽しみです。重要なポイントは神がなさるとしておられることを、それをなさる前に、私たちに語られるだけではなく、神がなさる時、それをしたのが主なる神であられると知ることになります。もう一度、同じことを別の言い方で言ってみてもいいかもしれません。これは預言に富んだ章で、38章と39章もまったく同じです。しかし、この章にある預言的な性質によって、個人的適用を失くしてほしくありません。理由は、神は、昨日も今日も、とこしえに変わることがありません。(ヘブル 13:8参照)

当時、神は人々のためにこうされ、そして同様に、今、神は、私たちにもそうしてくださいます。今でさえも。神は死からのちをもたらすことができになります。神は死に命を吹き込まれ、生き返らせることができになります。私たちが今から見ていくのは、新たな希望といのちが伴う、新たないのちのためのこの新たな希望。神は奇跡的なご方法で、ご自分の民イスラエルに新しい命を吹き込もうとしておられます。それは、あらゆる意味で控えめな表現です。つまり、そうなのです。奇跡で、自然界ではあり得ないこと、が、それは超自然の領域です。神はそれをすると言われ、神はそれをされました。今、この章の最初の部分を振り返り、、、これをしないでください。そうしなくては、何というか、マーカーやペンを持って、、、再度、したくないなら、しないでね。しかし、37章の冒頭部分にこう書いてください。「成就」「レ点」やり過ぎでしたか？ OK。始めましょう。いいですか？ 1節、

一エゼキエル 37:1  
主の御手が私の上にあった。私は主の霊によって連れ出され、平地の真ん中に置かれた。そこには骨が満ちていた。

一エゼキエル 37:1  
主の御手が私の上にあった。私は主の霊によって連れ出され、平地の真ん中に置かれた。そこには骨が満ちていた。

一エゼキエル 37:2  
主は私にその周囲をくまなく行き巡らせた。見よ、その平地には非常に多くの骨があった。しかも見よ、それらはすっかり干からびていた。

一エゼキエル 37:3  
主は私に言われた。「人の子よ、これらの骨は生き返ることができるだろうか。」私は答えた。...あゝ、、、それは原文にはありません。

**...神、主よ、あなたをご存知です。**

良い答えですね。神と預言者エゼキエルとの対話を想像して下さい。神はこの骨、まさに死の谷をエゼキエルに見せておられます。ある意味、文字通りに。しかも骨があるだけでなく、非常に多くの骨で、すべて野晒しです。では、なぜその詳細が重要なのか？ これは当時、現代の文化でも考えられないことであり、不名誉で想像を絶することだからです。速やかに適切に埋葬されないユダヤ人は、決していないからです。ですから、これは、、、つまり、、、それは死の描写であるだけでなく、不名誉な描写でもありました。これらの骨は、さらされていて、この谷の中だけでなく、これはもう1つの描写で、私たちの理解に密接に関係するのは、そこで、ただ枯れていただけでなく、非常に干からびていたと言われています。言い換えれば、その骨は干からびるまで長い間そこにあったということ。ポイントは何か？ ポイントは、彼らは死んで干からび、生き返るわけがない。しかし、神は、エゼキエルに尋ねられます。「どう思う？ 生き返ると思うか？」(エゼキエル 37:3参照)

ひっかけ問題ですね。ですから、これがお決まりで、そのような質問をされたとき、特に、主があなたに尋ねられたとき、あなたを探っておられ、「主よ、あなたをご存知です。」とあなたはわたしに答えるでしょう。あなたは、、、これは修辭的ですね？これに答えようとも思わないからです。エゼキエルにとっては公平です。これから証拠を見ていきます。エゼキエルは、この非常に干からびた、非常に乾いた骨を神が生き返らすことができなると分かっています。神がエゼキエルにこう尋ねられたように聞こえます。「これが起きると思うのか？」アダムとエバが座わりこみ、逃げて、隠れて、罪を覆い隠した時に神がこう仰ったのに似て

**「あなたはどこにいるのか？」(創世記 3:9)**

神が、アダムがどこにいるのか知らなかったのではありません。私たち大丈夫ですか？ 私がここで何を言おうとしているのか分かりますか？ つまり、神はすでに答えをご存知ですが、神はアダムに質問されます。「あなたはどこにいるのか？」どこにいるかは知っているが、質問に答えてほしいのです。

「エゼキエルよ、これらの骨は生き返れるだろうか？」（エゼキエル 37：3参照）  
訳して言うことができます。「わたしがこれらの骨を生き返らせるのをあなたが知っているのは知っていますが、わたしはただ、あなたがそれを言うのが聞きたいのです。」

ですから、基本的に、エゼキエルはこう言います。「はい、主よ。あなたはご存知です。」再び、4節、  
一エゼキエル 37：4一

主は私に言われた。「これらの骨に預言せよ。『干からびた骨よ、主のことばを聞け。』」

一エゼキエル 37：5一

神である主はこれらの骨にこう言う。見よ。わたしがおまえたちに息を吹き入れるので、おまえたちは生き返る。

一エゼキエル 37：6一

わたしはおまえたちに筋をつけ、肉を生じさせ、皮膚でおおい、おまえたちのうちに息を与え、...

[ここで、再び]

...おまえたちは生き返る。そのときおまえたちは、わたしが主であることを知る。』」

あなたが知るの間違ひなく、他の誰にもできないわたしにしかできないこと。こうしてあなたは、それをしたのはわたし、主なる神であることを知ります。さて、これについて少し話しましょう。この不条理について、私たちは少し考える必要があるからです。どういう意味か？ ここでエゼキエルは、「これらの骨に預言しなさい。」以前エゼキエルは、セイルの山について預言するように言われました。そして、イスラエルの山々に預言しました。「エゼキエルよ、あなたは良い仕事をしている。骨に預言しなさい。枯れて、非常に干からびた骨に。」どう思いますか？ ですからエゼキエルは、この谷の枯れた骨について預言の言葉を語ろうとしています。おかしいでしょ。想像してみてください。当時、エゼキエルの冗談が飛び交うのを。まだ SNS が無い時代です。アイデアを変えるのに何人のエゼキエルが必要です？ つまり、エゼキエルは笑いものになっていたでしょう。ええ、新しいことではありません。エゼキエルだけじゃなく、その前のエレミヤ、彼のような多くの者たち同様。しかし、エゼキエルはこの枯れた干からびた骨に、おかしな不条理な預言を語ろうとしています。注目ください。その預言は何か。「わたしはあなたを生き返らせる。」さて、ここからが本当に良いところです。7節、

一エゼキエル 37章7節一

私は命じられたように預言した。...

そこで止めます。では皆さんに質問です。ある意味修辭的ですが、一緒によく考えてみてください。なぜ神は、この章、この書の7節のこの詳細を記す必要があると判断されたのか？ エゼキエルならそうしたのでは？ 聖霊の靈感の下、エゼキエルが、預言するよう命じられたとおりに預言したと私たちが語られる必要があるのはなぜか？

答え。：神は、エゼキエルにそうするよう命じられ、エゼキエルは、神が命じられたたことをするのに従ったからです。この不合理な命令に従った結果、神は想像を絶することをされました。さて、その適用とは？ 神は時に、私たちの心に印象を置かれたり、私たちの人生に語られたり、どう考えても絶対に不合理と思われるようなことに私たちに召されたりします。私たちの自然な反応は、「そんなことしない。あり得ない。まさか。」私たちがそれをしがちな理由は、それが大変馬鹿げているという名目で隠してしまうから。「きっと神ではない。」言い換えれば、「まさか神は私に、枯れた骨や干からびた骨に向かって『あなたは生き返る』と預言するような馬鹿げたことを命じられるはずがない。それは、それは神ではない。そう、神はより理論的で、より可能で、信ぴょう性のあることを私に命じられる筈で、それは主であるはずがない。」と。このように言わせてください。全く理に合わないとき、、、それがおそらく主です。それについて説明します。皆さんが私を見る見方が、「説明できますか？」のようだからです。説明します。私たちは、靈的ではなく、理論的な枠組みで機能する傾向があります。その理由は、私たちがもっとコントロールできるから。真実を知らしめれば、私たちは主導権を持ちたいから。これは大きな奮闘です。私たちの多く、私たち全員の間で。神の御方法や知恵とこれほどまでに私たちが格闘するのは、私たちには完全に制御不能で、完全に制御くださる神を信頼せねばならないからです。日曜日の説教で、私たちは、「ユダの手紙」を始めます。「ユダの手紙」は別のハガキのように短い手紙で、主の御心なら、日曜日の朝です。1節だけです。許してください。「ユダの手紙」1章を始めます。1章だけですけど。1節から始め、1節だけを学びます。それには理由があって、最初の1節だけで、あまりに多くのことがあって、手紙全体と同じです。日曜日の説教のタイトルは、「神がコントロールされる理由」理由は、、、決まり文句ですね？「そう、神がコントロールしておられる！」が、私は笑ってしまいます。理由は、こんな感じだから。「神がコントロールされています。あなたで

はない。神にさせていただく。」あなたは出来事をコントロールし、あなたは結果をコントロールしたい、あなたはすべてをコントロールしたい。そして、神が何をされているのか、神がされていることを神がされている理由が全く私たちにはわかりません。ですから、私たちは葛藤します。「神よ、何をされているのですか?」「わたしには分かっています。あなたは解釈しようとする。」「いやです。それって駄目です。私は自分がコントロールできるように、自分が知りたいからです。」

神は、「いいえ。わたしに任せなさい。」「いやです。あなたが何をされているのか知りたいんです。」それをコントロールと呼びます。すべてコントロールです。私たちはコントロールしたいでしょ? 自分自身に話しています。頼みますよ。正直になりましょう。ですから、はい、あまりに不合理な場合は、論理的にまったく意味をなしません。それが主であられる可能性はかなり高いです。もう一步踏み込んで、よく似た別の動きと比較してみましょう。非常に困難な状況を経験したとき、何もかもが意味をなさなくなる。あらゆる場面ですべてが間違っていて、あなたの最初の反応は、「神がこのうちに、おられるはずがない。私は神の御心のうちにいないに違いない。」なぜなら、私は自分の状況というレンズを通して神の御心を見て、解釈するからです。それらは大変複雑で、不可能で、不合理でもあり、私は神の御心から外れているに違いない。それが私たちの理論で論理だからです。それが論理です。私たちはそれを解明しようとしています。ここで神が、「待ちなさい。あなたが言っているのは、人生の試練の真っ只中にいるから、あなたの人生で、わたしの御心の中にいないということですか? あなたが、あなたの人生で、不条理で、とんでもなく、不合理な状況のど真ん中で、もしもわたしの御心の中にいるとしたら、どうしますか?」

それは本当にギアが動かなくなります。私たちはそのように考えないからです。そう、私たちは順風満帆を考えます。青空と太陽が広がり、雲ひとつない、嵐のない人生。雨も降らず、晴れていて、いつも穏やか。何と呼ぶか知っていますか? 不毛の砂漠。今夜の目的のために、枯れて干からびた骨の谷。何も成長しない。すべてが枯れて干からびている。いえ、実は私もその中にいます。不条理ですけど、私はその中にいます。それどうですか? そうなのですか? 「はい。」分かりました。神よ、これは良くなりますね。「はい、そうです。」状況の不条理さに比例して、召命、一連の状況の向こう側から、奇跡が来るからです。ひっくり返して、私がこう言ったらどうでしょう? もし7節にこう書かれていたらどうでしょう。「私は預言するように命じられたことを預言するのをためらった/拒否した。」私たちの前にはまったく違う章があったでしょうね。神は、、、ともかく。わかりません。私が思うに、、、えっと、いえ。いえ、神はなさいません。とにかくそれはエゼキエルにとって良い結果にはならないでしょう。ここで置いておきます。命令が何であろうと、これは命令への服従です。私は思うのですが、次に進む前に、私たちは皆、神の命令を理解し、耳を傾けるのが良いです。特に、エゼキエルのような不条理な命令には。最後に、これはどうですか? 「JD、オアフ島に移住してほしいのです。」ここまでいいですね。

**「主よ、ここに私がおります。私を遣わしてください。」(イザヤ 6:8)**

「わたしはあなたにすべてを捧げてほしい。あなたは家を売る前に、、、(本土では何の価値もありません)オアフに引越してきてほしい。売ってほしくないのは、それが論理的だからでしょ? 信仰によってわたしを信じて、そこに移り住み、見知らぬ家を借りてほしい。」それが信仰ですね? 賃貸住宅を見ることなく売られる実体。(信じる事は見る事に掛けて)ちょっと言い換えただけです。

「わたしを信じなさい。あなたは準備万端ではない。」(直訳:あなたはすべてのアヒルを一行に並べてない。)

理論的には、まず準備万端にしてからでしょ。(直訳:自分のアヒルを一行に並べてから。)それが論理です。でしょ? ところで、ネタバレ注意。あなたが準備万端になった時、神はあなたをご覧になって、こう仰います。「あなたのアヒルは一行ですね。」(指で弾き飛ばされる)綺麗に一行に並んでいたアヒルが倒れます。なぜか? 「あなたが一行に並べたアヒルではなく、わたしを信用するしかないのだから。あなたがコントロールしていました。今や、あなたがするのは、わたしを信じるしかありません。」「まあ、これは意味がありません。神よ、私には、成長し前進している教会があります。」私は楽しんで手に入れました。(直訳:日陰で作りました。)私は美しい家に住んで、いい車に乗って、事業も売りました。経済的にも、神は与えてくださいました。私たちは、教会に人が集まる前に、教会の建物を自分たちで所有していました。(当時は本土ではそれが可能でした。)'「で、私はこれを置いて行くのですか? ここは大変快適です。それは意味がありません。」「はい、しかしあなたは、わたしに従ってほしい。すべてを捨ててほしい。すべて手放してください。それを置き去りにして、アブラハムのようにこの地に行きなさい。」あなたの知らない理解を超えた大いなること。(エレミヤ 33:3)

参照) わたしを信じなさい。」それは滑稽な話です。誰がそんなことしますか？ 私たちが元居た地域がたまたまそうだったのが、これは大げさな表現ではなく、文字通りです。今夜、この章を終えるので、心配しないでください。文字通り、もっとも物価の安い地域のひとつでした。実際、1989年のことですが、思い出します。イリノイ州ピオリアに次いで2番目に物価の安い場所だったんですよ。イリノイ州ピオリアに次いで、あなたがピオリア出身なら、あなたを愛しています。物価が安いんです。いや～、不動産、中間あたりの住宅価格はあなたを混乱させますよ。3600平方フィートの家で9万ドルでした。箱じゃなくて、家です。この動揺。私たちは去る？ これはまったく意味不明。これは不合理だ。神であるはずがない。アメリカ合衆国で最も物価の安い土地を離れ、アメリカ合衆国で最も物価の高い土地に来ることになったんです。違う、それは神じゃない。ですから、私の人生で37章の7節は、おそらく、ありがたいことに、そうではなかったけど、こう読めるかもしれません。JD曰く、「違うね。」一笑一これはやり過ぎですか？ 皆さん、わかりましたね。

一エゼキエル 37 : 7 一

私は命じられたように預言した。私が預言していると、...

これを見てください。いろいろなことが起こり始めました。これは興味深い。ただ、手短かに親しみを込めて、、、深く言いませんが、留意ください。主が命じられたことをエゼキエルがしたら、神は仰いました。「よろしい！ わたしたちはこれをしていきます。今、わたしを見ていなさい。」音がしました。

...なんと、(突然) ガラガラと音がして、骨と骨とが互いにつながった。(エゼキエル 37 : 7 後半)

一エゼキエル 37 : 8 一

私が見ていると、なんと、その上に筋がつき、肉が生じ、皮膚がその上をすっかりおおった。しかし、その中に息はなかった。

一エゼキエル 37 : 9 一

そのとき、主は言われた。...

ここからがもっと良くなります。今、「骨に預言せよ。」で、次は、「息に預言せよ。」だって?! からかっているんですか?

一エゼキエル 37 : 9 一

...「息に預言せよ。人の子よ、預言してその息に言え。『神である主はこう言われる。...

エゼキエルは息に空間に預言しているんです。

...息よ、四方から吹いて来い。この殺された者たちに吹きつけて、彼らを生き返らせよ。』」

ここで、再び、10節。7節のようです。

一エゼキエル 37 : 10 一

私が命じられたとおりに預言すると、...

何が起こったかご存知ですね？ 何が起こったかご存知ですね？

...息が彼らの中に入った。そして彼らは生き返り、自分の足で立った。非常に大きな集団であった。

ちょっと待って。なんと、興味深い詳細です。ですから今、エゼキエルが神の命令に従って預言したように彼らは神が言われたとおりに生き返りました。今、それが起こりました。しかし、その目的は何なのか？「わたしは目的のために彼らを生き返らせる。」彼らはただの集団ではなく、大きな集団です。彼らはただの大きな集団ではなく、非常に大きな集団です。非常に大きな集団だという印象を受けます。

一エゼキエル 37 : 11 一

主は私に言われた。「人の子よ、これらの骨は...

これがこの預言の解釈です。

...これらの骨はイスラエルの全家である。...

なぜイスラエルの全家なのか？ この時点で、イスラエルは北イスラエル、北の部族と南のユダに分裂していたからです。ですから、わたしはそれを生き返らせるだけでなく、一緒にします。イスラエルの全家に。

...(見よ、)彼らは言っている。...

これを聞いてください。骨は今、息をしているから話します。彼らは生き返りました。

...『私たちの骨は干からび、望みは消え失せ、私たちは断ち切られた』と。

さて、一読して、あなたが私同様なら、恐らく何人かはそうだと思いますが、あなたが誰であるかはお分かりですね。私なら第一声は、「本当？ 私はあなたを生き返らせました。あなたたちは枯れた干からびた骨でした。今、あなたたちは不平不満を言っています。これが私が受ける感謝ですか。取引終了。再び、枯れなさい。」それは私だけです。再度、私は誰も見ません。それが私の反応です。感謝はど

こ？ 感謝がありません。むかつきます。しかし、神は。そのいつくしみ、憐れみ、その愛によって、12節、エゼキエルに語られます。

—エゼキエル 37：12—

それゆえ、預言して彼らに言え。『神である主はこう言われる。わたしの民よ、見よ。...

わお！

...わたしはあなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓から引き上げて、イスラエルの地に連れて行く。

バビロン捕囚が終わった後、これは部分的に成就しました。エズラとネヘミヤのもとで、言わば、彼らは地に帰り、死から生還しました。しかし、これはある部分だけです。もっと良くなります。

—エゼキエル 37：13—

わたしの民よ。わたしがあなたがたの墓を開き、あなたがたを墓から引き上げるとき、あなたがたは、わたしが主であることを知る。

—エゼキエル 37：14—

また、わたしがあなたがたのうちにわたしの霊を入れると、あなたがたは生き返る。わたしはあなたがたを、あなたがたの地に住まわせる。このとき、あなたがたは、主であるわたしが語り、これを成し遂げたことを知る—主のことば。』

ちょっと待って。私たちは、、、またもや、これはデジャブです。ヨギ・ベラが言いましたね。そして、エゼキエルが基本的に同じことを重複して言います。神に命じられ、私はそれをしました。ここで神が語られました。私はそれを語り、行いました。私はそれを実行しました。それって現在のしっかり把握ではないですか？ そう急がずに。神はここで仰るのは、「あなたがたはそれがわたしだと知るでしょう。なぜなら、まず最初にわたしがそれ語り、そして、わたしがそれをしたからです。」

これは「ヨハネの福音」14章29節、イエスが語られます。

「今わたしは、それが起こる前にあなたがたに話しました。それが起こったとき、あなたがたが信じるためです。」(ヨハネ 14：29)

言い換えると、わたしはあなたに語りました。わたしはあなたに話しました。わたしはエゼキエルに前もって預言させました。それが起こる前に。そして、それが起こりました。あなたがたは、それが起こる前にわたしが語ったのを知っていますね。ですから、それが起きた時、それを起こしたのはわたしだとわかります。わたしはそれを話し、行いました。」

神が仰ったら、それで決まりです。それは、今夜、私たち一人ひとり、特に本当に苦しんでいる人たちにとって、大きな励ましになるはずです。神が語られたのなら、それで決まりです。

「牧師さん、聞いてください。神の御言葉にある神の約束が私のためにあるのは知っています。でも、まだ見ていません。」キーワードは「まだ」です。このせつちかちめ... 私は... ご存知ない？ 私にはせつちかの博士号があります。「ええ、わたしはそうします。」「はい、でも、いつですか？」「わたしはそうするといいました。」「いつそれをされるんですか？」「わたしがそれをする時、そうします。」

「大変助かります。神よ、感謝します。」「わたしはそれをします。わたしはそれを実行します。」

注目ください。現在形、、、過去形と現在形。わたしは語った/have spoken(過去完了形)過去です。わたしは行った/performed(過去形)現在です。私が言ったことは、、、間違っただけでしたね。失敗です。これはよくないですね。まだ残りの1章があります。言うことが意味することは、意味することを言う。これは神が仰ることで、神が意味することは神が仰ることを意味する。わたしが言ったことは、わたしがそれをするという意味である。わたしが言ったことを行なうとき、わたしは行きます。そして、あなたは、わたしが言ったことを行なったのはわたしだとわかります。うまく伝わったのを願います。もう一度言えるかどうかかわからないから。再度、今晚、私たちのために、あなたの人生にある状況があります。あなたはすでに神の約束を持っています。それは神があなたに語られた約束。神の御言葉、ロゴスです。レーマではありません。それは神の御言葉です。神があなたに御言葉を与えられました。神はそれをなさいます。さて、神がすると仰ってから、実際にそれをするまでの間の時間が、それが信仰と呼ばれるものです。来週、もう少し見るかもしれませんが、歴史/History は、神の話/History です。歴史と預言の間には美しい結合があります。聖書の歴史。聖書の預言。ここが私の向かう先です。預言は歴史の先取りです。預言の御言葉をより確かなものにするために、神がそれを仰ったのなら、神はそれをなさいます。ですから、あなたが聖書預言を読んでいるのは、実際、歴史を事前に読んでいるのです。もう決まったことだからです。ですから、時々、命懸けでしがみつかねばなりません。人生の試練を経験するとき、神がすると仰ったのなら、必ずされると信じるだけです。私たちは今すぐ

それをしてほしいのですが、神はすぐそれをされません。神がご存じのことを私たちが知っているなら、私たちは今、神がそれをされるのを望まないでしょう。神は決して遅くなることはあられないと言われていますが、神は決して早くもあられません。神のタイミングは完璧です。ここでイスラエルは、枯れた骨が生き返りました。神がされました。私たちは今、歴史を振り返ると、2600年以上前に聖霊によって書かされたのが「エゼキエル書」で、この預言は前世紀の1948年5月14日に部分的に成就しました。ですから、当時の彼らにとっては預言で、今の私たちにとっては歴史です。先立っての歴史。

「わたしはあなたたちをこの地に連れ戻します。わたしはあなたたちを死から蘇らせます。」先に進んだ方がいいですね。

皆さんのせいですからね。

— (笑) —

—エゼキエル 37：15—

次のような主のことばが私にあった。

—エゼキエル 37：16—

「人の子よ。あなたは一本の杖を取り、その上に『ユダと、それにつくイスラエルの人々のために』と書き記せ。もう一本の杖を取り、その上に『エフライムの杖、ヨセフと、それにつくイスラエルの全家のために』と書き記せ。

—エゼキエル 37：17—

その両方をつなぎ、一本の杖とし、あなたの手の中で一つとなるようにせよ。

さて、申し訳ないのですが、ご存じないなら知っておくべきは、モルモンはこの一節を、ジョセフ・ミスとして、聖書とモルモン書の2つの杖として文字通り受け取っています。いえ、本当です。ごきげんよう。それについて考えてみてください。いえ、実際そのことは考えないでください。ですから、ここで何が起きているんですか？ 再度、分裂しました。レハブアム王の時でした。確かレハブアムだったはずです。ヤロブアム、レハブアム、確かレハブアムだったはず。もし私が間違っていたら、優しく丁寧に訂正してください。私は繊細でしょ。レハブアムは邪悪な王でした。彼は側近に意見を聞き、その時、イスラエルは南はユダ王国、北はイスラエル王国に分裂しました。彼は部族を北に連れて行きました。それが、主が語られていることで、イスラエルの全家がひとつになるように、彼らをそこに連れ戻すこと。ですから、これは良いことです。理由は、神は私たちに新たな希望といのちを与えられ、復活させられるだけでなく、分裂から私たちをひとつにしてくださいからです。主は奇跡の結合をされるお方。神が1つにされていて、イスラエルはもはや2つではありません。

—エゼキエル 37：18—

あなたの民の者たちがあなたに向かって、『これがあなたにとって何を意味するのか、私たちに説明してくれませんか』と言うとき、

ああ、お気に入りです。これについて話しました。これを前の章でも見てきました。「エゼキエル書」だけでなく、他の書も同様に。神は好奇心を造られます。神は、、、ご存知、塩は渴きを生み出します。ですから、私たちは塩と光で、少なくともそうあるべきで、ですから、私たちが塩だとしたら、塩けをなくしたくないですね。塩辛すぎじゃなくて、、、(塩辛すぎは)それってよくないですね。「あなたは塩辛過ぎる。」それっていいこと？ それは褒め言葉ですか？ ありがとう。塩辛くあるべきで、私たちが本当に塩であるなら、塩が腐敗を防ぎ、喉の渴きを起こします。そして、私たちが作り出しているのは、この好奇心のようなもので、、、

「何？ これはどういう意味なのか？ あなたたちは本当なのか？」ペテロが語った通りです。彼らの方からあなたに聞くのです。(1ペテロ 3：15 参照)

注意してください。あなたから自分の中にある希望を伝えるではありません。違います。聞かれたときのために、答えを用意しておくのです。それは人々が尋ねてくるのが前提です。「誰も私に尋ねません。」まあ、あなたには、何も尋ねることがないのかもしれませんが。大変罪の示しがありますが、事実です。誰も私にイエス・キリストにある希望について尋ねません。ふむ。。。なぜでしょう？ 人々は、イエス・キリストにある希望をあなたに見ていないのかもしれませんが。だから、この好奇心は造られ、注目ください。神はエゼキエルに語ります。子どもたちがよく尋ねるような「いつ？」ではなく、当然の結論で、人々はこの預言に圧倒され、あなたのところにやってきて、あなたにこう尋ねるでしょう。「これは何を意味するのですか？」ここが、彼らに言うことです。

—エゼキエル 37：19—

彼らに告げよ。『神である主はこう言われる。見よ。わたしは、エフライムの手にあるヨセフ[ジョセ

フ・スミスじゃありません。]の杖と、それにつくイスラエルの諸部族を取り、それらをユダの杖に合  
わせて一本の杖とし、わたしの手の中で一つとする。』

一エゼキエル 37 : 20 ー

あなたが書き記した杖を、彼らの見ている前で手に取り、

一エゼキエル 37 : 21 ー

彼らに告げよ。『神である主はこう言われる。見よ。わたしはイスラエルの子らを、彼らが行って  
いた国々の間から取り、四方から集めて彼らの地に導いて行く。

一エゼキエル 37 : 22 ー

わたしが彼らを、その地、イスラエルの山々で一つの国とするとき、一人の王が彼ら全体の王となる。  
彼らは再び二つの国となることはなく、決して再び二つの王国に分かれることはない。

これを説明したいですが、ちょっと待ってください。24節の後にします。

一エゼキエル 37 : 23 ー

彼らは再び、その偶像や忌まわしいもの、またあらゆる背きによって身を汚すことはない。わたしは、  
彼らがかつて罪に陥ることになった背信から彼らを救い、彼らをきよめる。...

わお！ 主は復活の神、結合の神、清めの神であります。彼らにも拘わらずですよ。この預言には、  
ユダとイスラエルの役割についての言及がまったくありません。これに値するために、彼らがしたこと  
をせねばならないなどということは、どこを探しても、どんな時期も、どこにも書かれていません。日  
曜日にもこのことについて少し話しますが、これはすべて神です。もう何年も前のことですが、ホロコ  
ーストの後、世界はユダヤ人に同情している、と誰かが言ったのを覚えています。彼らはイスラエルに  
土地を返し、国家を作ったと。違います！ まじ？ あなたはどんな聖書を読んでいるのですか？ ジ  
ョセフ・スミスが書いたんですか？ わかりませんが。ごめんなさい。それはそれで置いておきます。  
十分ですね。理由は、イスラエルが国家として復活し、枯れた干からびた骨に新たな希望と命が吹き込  
まれたからです。神がそうされると言われたからです。世界がユダヤ人に同情したから？ 実際、世界  
は決して同情しませんでした。いや、まじ？ 違います。神がそう仰ったからです。神はそれをする  
と仰いました。神はそれをなさいました。それが理由です。エゼキエルを通してのすべての預言の何世代  
も前に、神は彼らをこの地に連れ戻されました。国として生まれ変わり、枯れた骨に新しい命が吹き込  
まれました。それが理由です。どこへ話が向おうとしていたっけ？ 私はそれが意味深だと知っていま  
す。お～！！ 神は彼らのためにこのすべてをされています。彼らにかかわらず。つまり、あなたは  
これをすべて理解しましたか？ 「わたしは彼らの偶像崇拜、憎むべきものを清め、背信と罪と不義から  
清めます。わたしは彼らを、世界中に散らばった彼らのすべてを救い出します。わたしは彼らを集めま  
す。彼らを生き返らせるだけでなく、彼らの土地、わたしが彼らに与えた土地に連れ戻します。」

そして、

...彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。

24節、

一エゼキエル 37 : 24 ー

わたしのしもべダビデが彼らの王となり、彼ら全体のただ一人の牧者となる。彼らはわたしの定め  
に従って歩み、わたしの掟を守り行う。

これはまだの未来です。これは王国時代、千年王国時代に成就すると広く信じられています。千年王国  
時代の統治についてあまり同意されていないのは、これはダビデなのか、イエスなのか？ こっちの陣  
営では、いや、それは千年王国の間はダビデだとか、反対側の他の陣営では、いや、ダビデの息子のイ  
エス・キリストの事で、イエスが、王国時代に支配し統治される。あなたは何と言いますか？ はい。  
25節、、、いやいや、つまり、OK。両方だとしたら？ つまり、預言はどちらか一方か？それと  
も？とは要求しません。では、この章を終える前に、サッと。有名な最後のフレーズサッと。今言っ  
ておかないと、これを忘れると、多くの方が大変なことになります。説明します。人々は、預言を直訳し  
て早合点しています。特にイスラエルに関して。例えば、1948年以前の解説で、1800年代に戻りま  
しょう。彼らは「エゼキエル 37章」のような預言を読み、また混乱するだけでした。

「そんなことはあり得ない。非論理的で不条理だ。文字通りの意味であってはならない。」あなたはあ  
らゆる種類の誤った教理の扉を開いてしまいました。空白を作ってしまった。そしてこれが、こんにち  
の置換神学の道を作りました。「これは文字通りにイスラエルが戻って来るのじゃない！！ やめてく  
れ！！」「神はこの枯れた干からびた骨に命を吹き込み、生き返らせ、彼らの土地に連れ戻そうとされ  
ているなんてあり得ない。霊的か寓話的に違いない、文字通りじゃない。」私はあなたを励まします。

私はあなたの時間を無駄にするつもりはありません。しかし、もし 1800 年代、あるいは 1900 年代初めの記録保存された解釈書を遡りたかったら、彼らはそれを繰り返しています。私たちは今、2024 年にいて、信じられますか？ まだここにいるなんて信じられません。もう長くないかもしれません。

(上を見上げる) が、、、わお！ わお！ イスラエルに行ったことのある人は、文字通りのイスラエルです。「いや、比喩的なイスラエルに行った。霊的なエルサレムですよ。」いいえ、それはありません。あれは本物です。エルサレムの旧市街で食べた料理は最高でした。考えていたらお腹がすいてきました。つまり、私が言いたいのは、これで締めくくりますけど、これは、神の御言葉を受け取るという最も重要なことにつながります。

神は仰いました。：「わたしは彼らをこの地に連れ戻す。わたしの御言葉にあるわたしの預言に、あなたの世俗的論理を押し付けてはならない。もしあなたがそうするなら、それはあなた自身に危険を招くからです。」

彼らを気の毒に思います。いつもじゃないですけど。恥ずかしながら、私は彼らが大嫌いでした。私は彼らに攻撃的でした。今は、もちろん、私は敬虔で成熟した神の人です。私は今、彼らに同情します。実際、私はそうです。なぜかわかりますか？ 彼らは何をせねばならないのか、私には想像すらできませんけど、おっと、彼らは霊的プレツェル（曲解）に入り込み、全てをうまくいかせるために聖句をねじ曲げねばなりません。教会がイスラエルに置き換わると言うやいなや、あなたは全力で取り組み、何か他のことを考えねばなりません。「ヨハネの黙示録」では、あなたがたのうちの 14 万 4,000 人ですか？「おお、いえ、それは寓話的です。」本当に？ 12 部族についてはいかが？ ちょっと興味があります。それで何をしますか？「ああ、あるんだよ。そう、、、、」ほらね。つまり、彼らは奔走していて、、、、ごめんなさい。あまり礼儀正しくなく、牧会的でもなかったけど、構いません。つまり、彼らは奔走し、何かを考え出そうとしていて、彼らは何かを思いつく必要があるからで、それをする時、何かを考えつかねばならないからです。事実じゃないですか？嘘をつくど、熱心に取り組むのは、あなたは嘘を、ずっとつき続けねばなりません。嘘をつき続けると、それは嘘ではなくなります。あなたの嘘がバレるからです。あなたは嘘をついています。あなたは嘘をついています。わかっています。また嘘をつかねばならない。嘘をついたから。これ以上踏み込むつもりはありません。ポイントはわかりましたね。どこでしたっけ？ 25 節ですか？ しました？はい。では、

#### 一エゼキエル 37：25 一

**彼らは、わたしがわたしのしもべヤコブに与え、...**

これもまた良いです。私はここが大好きです。ヤコブは、別名イスラエル。ヤコブの苦難の時は、イスラエルの苦難の時。7 年の患難時代。教会の困難の時ではありません。「はい、でも私たちは霊的ヤコブです。」どうぞご自由に。あなたみたいになりたくないわ。

**...あなたがたの先祖が住んだ地に住むようになる。そこには彼らとその子らとその子孫たちが、とこしえに住み、わたしのしもべダビデが永遠に彼らの君主となる。**

これが千年王国であり、永遠の未来です。そして、この章を終えます。26 節、

#### 一エゼキエル 37：26 一

**わたしは彼らと平和の契約を結ぶ。...**

興味深くないですか？「多くの者と（堅い）契約を結ぶ」「ダニエル書」9 章 27 節で、反キリストは、偽の契約を結びます。この聖句が真の平和の契約です。

**...わたしは彼らと平和の契約を結ぶ。これは彼らとの永遠の契約となる。...**

今度誰かが、「神はユダヤ人を見限った。」と言ったら、あなたのアラブ人牧師がこう言ったと伝えてください。これはユダヤ人との永遠の契約となる。（エゼキエル 37：26 参照）

永遠の契約とは何か？ 永遠に続く契約。

**...わたしはそれを彼らに与え、彼らを増やし、わたしの聖所を彼らのうちに永遠に置く。**

#### 一エゼキエル 37：27 一

**わたしの住まいは彼らとともにあり、わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。**

#### 一エゼキエル 37：28 一

**わたしの聖所が永遠に彼らのうちにあるとき、諸国の民は、わたしがイスラエルを聖なる者とする主であることを知る。』』**

待ちきれません。ところで、こうして話している間にも、私たちはこの預言の成就のため境界を越えようとしています。話している間にも。鳥肌ものじゃないですか？ 来週来てください。鳥肌になります。ご起立ください。カポノ、上がってきてください。神よ、あなたは新しい希望、新しい命、新しい始ま

りの神であります。あなたは枯れて干からびたものを、生き返らせることができになります。結婚、家族、人間関係において。結婚、家族、人間関係において。あなたは可能な神であります。まったく絶望的に見えるときでさえ、あなたは新しい希望をもたらされます。命がないすべて干からびたところに、新しい命をもたらされます。主よ、今夜の私たちの学びが、人生においてどんな状況にあらうとも、絶望的に見えようとも、生気が失せようとも、私たちが、あなたが私たちに与えられた不合理で滑稽で不条理な約束を受け入れられますように。あなたは私たちに新しい希望と新しい命をもたらされます。主よ、ありがとうございます。私たちはあなたを大変愛しています。イエスの御名によって、アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7